

2018年度「国際交流基金特別賞」のお知らせ

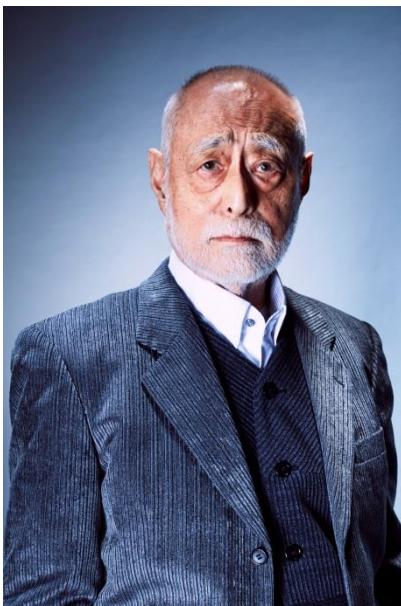
～故・津川雅彦氏（「日本の美」総合プロジェクト懇談会座長）への授賞が決定～

国際交流基金が実施する2018年度「国際交流基金賞」の特別賞の受賞者が、津川雅彦氏に決定いたしました。「国際交流基金特別賞」は、国際交流基金賞の本賞に該当しない場合において、特に授賞が必要である場合に授与するものです。津川氏は本年8月に逝去されたため、「引き続き活躍が期待できる個人または団体が対象」となっている国際交流基金賞の本賞の対象とはならないため、特別賞をもって顕彰するものです。

記

事業名称：国際交流基金賞

主催：国際交流基金



Nakajima Yosuke (smooth inc)

受賞者：津川 雅彦（俳優）

授賞理由：

故・津川雅彦氏は、日本人の美意識・価値観を世界に発信し、国際親善と世界の平和に寄与する施策を検討するために総理官邸に設けられた「日本の美」総合プロジェクト懇談会の座長を務めた。

「日本の美」総合プロジェクト懇談会において津川氏は、文化の力で国際社会における日本の存在感を向上させるとともに、多様性に富んだ日本固有の価値を明らかにし、世界の平和に貢献することを提唱し、そのためのアプローチとして、「日本博」の開催を提案した。それはのちに今世紀最大規模の日本の文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018」として実現に至った。

平成28年11月にジャポニスム2018の具体化及び開催準備等のために設置されたジャポニスム2018総合推進会議の総括主査として、ジャポニスム2018の企画全体に適切なアドバイスを行うとともに、伝統と現代、混沌と形式、永遠と一瞬、などの日本の美意識に基づくジャポニスム2018の全体コンセプトを具現化する展覧会「深みへー日本の美意識を求めてー展」を立案し、推進した。また、広報などで発案も行い、推進した。

日本文化について深い見識を持つ文化人として、国際社会における日本の存在感の向上、世界平和への貢献を目指した具体的な政策提言を行い、ジャポニスム2018の実現に至る道筋をつけたことは国際相互理解の増進と友好親善の促進の観点から稀有な功績であり、その貢献を称え、国際交流基金特別賞を授与する。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

国際交流基金について (<http://www.jpjf.go.jp/j/index.html>)

国際交流基金は世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。1972年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003年10月1日に独立行政法人となりました。海外に24か国・25の拠点を持ち、「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ」をミッションに掲げ、世界の人々と日本の人々の間でお互いの理解を深めるため、さまざまな企画や情報提供を通じて人と人との交流をつくりだしています。

国際交流基金賞について

1973年以降、毎年、学術や芸術などのさまざまな文化活動を通じて、国際相互理解の増進や国際友好親善の促進に特に顕著な貢献があり、引き続き活躍が期待される個人または団体に対し毎年3件授与しています。

本年度「国際交流基金賞」受賞者

多和田 葉子（小説家／詩人）〔日本〕
細川 俊夫（作曲家）〔日本〕
サラマンカ大学スペイン日本文化センター〔スペイン〕

日本の美総合プロジェクト懇談会について

我が国の文化芸術の振興及び次世代への保存継承を図るとともに、文化芸術と日本人の美意識・価値観を国内外にアピールし、その発展及び国際親善と世界の平和に寄与するための施策の検討に資するため、内閣総理大臣の下に開催される懇談会。

「ジャポニスム 2018」総合推進会議について

日仏政府間において開催が合意された「ジャポニスム 2018」の具体化及び開催準備並びにその後の展開等に係る審議を行うため、内閣総理大臣を議長として開催される会議。

ジャポニスム 2018 について

「日本の美」総合プロジェクト懇談会の提言も踏まえ、2016年5月の日仏首脳会談において、日仏友好160年に当たる2018年、パリを中心に開催することが合意された日本文化・芸術の祭典。「ジャポニスム 2018：響きあう魂」のタイトルのもと、展覧会、舞台公演、映画、その他日本人の日常生活に根ざした文化まで含め、さまざまな日本の芸術と文化を幅広く紹介。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpjf.go.jp